

7/29 五 機

日米統合抑止を明記

防衛白書 安保3文書の項目新設

原田録「防衛費は28日の『統合戦』戦略を頭
腦で、2000年版防衛に、日本の軍事一体化を進
む目標を提出しました。昨年、めでこく想を示しまし
て改定した安保の文書でした。
→関連②
開する項目を新設。日本は「核抑止力を中心
した。」
イル防衛」(IAMD)に
ついて、イヤベト付近で解
説。敵基地攻撃能力は「侵
攻を抑止する鍵」なども

「この米軍の撤退」は、中國の軍事的反撃によって、「最大の戦略的挑戦」と謂ふべきだ。同盟國・同志國なりに於ては、同盟國の軍事的反撃によって、「最大の戦略的挑戦」と謂ふべきだ。同盟國・同志國なりに於ては、同盟國の軍事的反撃によって、「最大の戦略的挑戦」と謂ふべきだ。

した。中國と台灣の軍事バランスにして「中國側」が有利な方で、結果、「中國側」が優位性を發揮する。しかし、武裝の国で戦闘を継続する佛移転は原爆や運用指針の能力があるとして、「戦闘実力」を検討するに感づくと、従来より踏み込みましてが最悪化する可能性も指摘されました。

「強大な懸念」を表明しま
した。また、武器輸出の推進に
関する記述を拡充。武器輸
出は「わが國などひとり望め
ない安全保護環境の創立」
について、ロシア軍と
基地(同様實戦的)の「繼
続的な使用を回避するため
の唯一の解決策」だと固執
していました。

米軍新規地更設は、横木町
基地(同県宮崎市)の「継
続」、鹿児島市内に回掛かる「